

令和2年度 収支報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入 ◆当期収入合計 4,313,350円
 献金(219件) …… 4,313,350円

支出 ◆当期支出合計 4,083,180円

【支出内訳】 支援支出 …… 4,005,500円
 通信費 …… 34,174円
 印刷費(報告書) …… 17,900円
 支払手数料 …… 23,973円
 消耗品費 …… 1,633円

◆前期繰越金 6,690,561円
 ◆当期収支差額 230,170円
 ◆次期繰越金 6,920,731円

指定献金内訳	令和2年7月豪雨災害支援／ コロナ禍で困窮するフィリピンの子どもたちへの支援	219,000円(20件)
	子ども学資支援	667,123円(35件)
	大学生学資支援	559,620円(17件)
	パンガラップ学校支援	445,329円(33件)
※《心の参加者》		
	・東京ベルズコンサート	125,000円(31件)
	・チャリティー演芸会	25,000円(4件)



▲献金箱を活用して、一つでも多くの「笑顔の花」を咲かせましょう!

支援支出明細

【※印は、指定献金を含む】

【ストリートチルドレン支援】	
フィリピン:ストリートチルドレンへの「食料品配給」「給食支援」	※560,000円
フィリピン:「子ども学資支援」(幼稚園～高校生のスカベンジャー・45人)	※810,000円
フィリピン:「大学生学資支援」(スカベンジャー・5人)	※900,000円
フィリピン:「パンガラップ・ラーニング・スクール」(学校運営支援)	※1,440,000円
フィリピン:スカベンジャーの子どもたちへのクリスマスプレゼント(チョコレート)	※5,500円
【災害被災者支援】	
熊本県芦北町:令和2年7月豪雨災害義援金	※100,000円
熊本県球磨村:令和2年7月豪雨災害義援金	※100,000円
【福祉施設・団体支援】	
福島県:介護老人福祉施設「北原荘」	30,000円
福島県:介護老人保健施設「天心ケアハイツ」	30,000円
福島県:山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」	30,000円
合計 4,005,500円	



▲手作りマスクを受け取った一家(フィリピン)

●「お役に立てれば…」と、大塚慶子さん(埼玉県)、藤本あきさん(大阪府)、古城門澄子さん(広島県)が手作りマスクを寄付して下さり138枚を届けることができました。

●〈幸せの種まき献金〉のご報告は

献金の入金および支出は、SYDの機関誌『向上』『愛』誌上で報告しています。また、支出先は、献金委員会で協議の上、決定しています。

この報告書は、年度ごとに1年間の活動報告をするもので、献金の協力者やSYDの会員組織などに配布しています。

●献金箱をご利用ください

〈幸せの種まき献金〉では、献金活動にご協力して下さる方のために、“献金箱”をご用意しています。ご希望の方は献金係へご一報ください。

●支援方法は?

全国の郵便局から下記宛にご送金ください。
 《口座番号》00140-6-670944
 《加入者名》幸せの種まき献金

●指定献金をご希望の場合は、郵便振替用紙の通信欄に、支援先をご記入ください。

●寄付金控除について

〈幸せの種まき献金〉へのご寄付に対しては、確定申告をすることにより、「公益社団法人等寄付金特別控除」を受けることができます(控除を受けるには、証明書と領収書の添付が必要です)。

ご希望の場合は、SYDまでご連絡ください。



令和2年度

幸せの種まき献金 [活動報告]

SYDの〈幸せの種まき献金〉は、多くの皆さまのあたたかいご協力(ご寄付)によって、海外のストリートチルドレンの教育支援や、災害被災者への支援などを年間をとおしておこなっています。令和2年度は、219件・総額4,313,350円の〈幸せの種まき献金〉を全国各地の皆さまからお寄せいただきました。

献金委員会では、これらの献金によって、フィリピンの経済的に恵まれない子どもたちが無料で勉強できる「パンガラップ・ラーニング・スクール」(約380人の子どもが通っています)の運営を支援し、そこに通う子どもたちへの学資支援、及びコロナ禍によって生活や学びに大きな打撃を受けている子どもたちへの緊急支援をおこなうことができました。また、台風災害などの被災者、福祉施設への支援もいたしました。ここに皆さまからのご協力に対し、心からの感謝と御礼を申し上げます。

世界に笑顔の花が一輪でも多く咲くことを願って、令和3年度も〈幸せの種まき献金〉活動を皆さまと共に展開してまいります。一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

— SYD「幸せの種まき献金」委員会



【フィリピン】皆さまの支援でまかれた「思いやりの種」

食料品配給



▶「届けられた「食料品」にお腹だけではなく心も満たされます。」

新型コロナウイルスのパンデミックによって、フィリピンも街中がロックダウンし、SYDが支援しているゴミ山周辺の子どもの生活も一変しました。

〈幸せの種まき献金〉では、支援している子どもたちの家に「食料品配給」、また子どもたちの大好きなジョリピーを「給食支援」し、クリスマスには日本の青年たちから届けられたメッセージカードとチョコレートのささやかなプレゼントを渡すことができました。

ゴミ山周辺の家庭は、ほとんどの親が日雇いの労働者。フィリピン国内の失業率は過去類を見ないほど悪化しており、日々の食事にも事欠く状態です。未来に希望を見出せない中、寄り添ってくれる存在だけが希望の光なのです。

給食支援



▶「今、一番食べたい物は？」と聞くと、ほとんどの子は「ジョリピー!」と答えます。

クリスマスプレゼント



◀日本からのささやかなサプライズプレゼントに「サンタさんが来てくれた!」と子どもは大喜び。



〈幸せの種まき献金〉活動をおこなっているSYD(公益財団法人修養団)は、1906年に蓮沼門三を中心とする学生たちによって創立されてから115年。青少年の健全育成事業を柱に、社会人教育、家庭教育などのさまざまな事業を展開している社会教育団体です。「愛と汗」を信条に、まず身近なところから「幸せの種」をまこうという、《幸せの種まき運動》を推進しています。

SYDの公式Webページ▶





【フィリピン】〈未来〉と〈笑顔〉を守る学校を支援

パヤタスとスモーキーのゴミ山で暮らす子どもたちの

ゴミ山周辺の2つの学校「パンガラップ・ラーニング・スクール」は、日本人映像カメラマン・瓜生敏彦さんによって設立されました。(写真中央)

瓜生さんはゴミ山に生きる子どもたちを描いたドキュメンタリー映画『神の子たち』(2001年公開)の撮影終了後、現地の子供たちにお礼がしたいと考え「何か欲しいものはないかい?」と聞くと、子どもたちは口々に「学校!」と答えたのでした。そのことがきっかけとなり、私財を投じてゴミ山の子どもたちが通える無料の学校を設立しました。

SYD〈幸せの種まき献金〉は、瓜生さんの想いに深く賛同し、学校設立の2001年より20年にわたって「パンガラップ」(日本語で“夢”)に通う子どもたちとの交流・支援活動を続けてまいりました。

コロナ禍は子どもたちの学び・生活にも大きな影響を及ぼしていますが、これからも皆さまと共に子どもたちの未来と笑顔を支えていきたいと願っております。



▲〈貧しい生まれ...〉その事実が子どもの無邪気な笑顔やえも奪い、時には“自分は価値のない者”という意識を植え付けます。パフォーマンスを舞台で発表し拍手を浴びることは、自己肯定感に繋がり、自信を持って人生を切り拓こうとする大切な一歩となります。

「クリエイティブ・イメージ財団」が 取り組む様々な支援



【芸術教育】

学校での学びも大切だけどそれだけではない、子どもたちにはそれぞれの才能・能力がある…。学校を運営するために瓜生さんが設立した「クリエイティブ・イメージ財団(CIF)」では、ダンス、歌、演劇、楽器演奏、アート等、子どもたちの潜在能力を開花させるための“ワークショップ”を定期的におこなっています。

▲芸術教育の集大成として、自らのバックグラウンドを描いた子どもたちによるラップミュージカルを公演。



▲日本人パフォーマンスの指導のもと和太鼓にもチャレンジ。



CIFが運営する「パンガラップ」パヤタス校

【路上生活者への支援】

職を失った人々はある日突然、路上生活者となります。新型コロナウイルスによって最も影響を受けるのは、いつも貧しい人々。せめて、免疫力の低い乳幼児に粉ミルクを…と配給を始めました。



▲コロナ禍で、路上生活者が増加。粉ミルクと紙オムツの配給をしている。



「ストリートチルドレン支援」を目的に、バザーやコンサート、演芸会などのチャリティーイベントが新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら開催され、収益金が〈幸せの種まき献金〉に入金されました。

また新たな試みとして、感染症が心配で来場できない方にも《心の参加者》となってチャリティーにご協力いただく呼びかけをおこないました。



●「幸せの種まき祭り」
(11/14、東京都・SYDビル玄関前広場、駐車場ほか)



●第4回「『東京ベルズ』チャリティーコンサート」
(12/5、東京都・SYDホール)



●第12回「SYDチャリティー演芸会」
(12/18、東京都・SYDホール)

令和2年度 幸せの種まき献金への ご協力ありがとうございました!

《献金者ご芳名》(順不同、敬称略)

- 浅野達夫 ●板倉和也 ●市島寿里 ●市原真理 ●植野君枝 ●内野富士子 ●梅村俊一 ●大倉桂子 ●大高み子 ●岡崎一也 ●沖山英夫 ●小俣宣子 ●織戸啓 ●尾張友美 ●加藤達雄 ●鴨川華子 ●河崎さなえ ●川合治子 ●川原口宏之 ●久世郁夫 ●工藤克彦 ●外所茂子 ●児玉夏菜 ●小林秋男 ●近藤直子 ●斉藤弘仁子 ●境美希 ●佐々木康恵 ●佐藤道子 ●佐藤裕子 ●島巡紀子 ●志村辰男・ちずる ●菅原文子 ●鈴木優子 ●高野修滋 ●竹本英美 ●田渡英男 ●戸谷友 ●中村幸子 ●名倉淑江 ●名取明美 ●根岸秋吉 ●袴田哲朗 ●ハカマダファミリー ●廣岡佳子 ●藤川紀子 ●古城門清則・澄子 ●松本公一 ●松本なお江 ●森文秀 ●矢野トヨ子 ●山崎順子 ●渡部ヒサ ●和出朝美 ●匿名
- 榊コ・ピアノ ●NPO法人東京ベルズ ●藤井商事㈱ ●吉川工業㈱ ●修養団愛汗喜多方「理事会・総会」参加者一同 ●SYDボランティア友の会 ●岡地宏(修養団日立システムズ五十鈴会茨城地区) ●修養団伊勢いなほの会 ●修養団雄介クラブ ●第12回SYDチャリティー演芸会 ●第12回SYDチャリティー演芸会来場者有志 ●第4回東京ベルズチャリティーコンサート ●第4回東京ベルズチャリティーコンサート来場者有志 ●幸せの種まき祭り ●「パヤタスに降る星」収益分献金 ●SYD役職員一同

以下、各指定献金の献金者ご芳名

【令和2年7月豪雨災害支援/コロナ禍のフィリピンの子供たち支援】

- 大八木忠吉 ●菅野浩和 ●佐野常雄 ●下村祐毅 ●高野修滋 ●高橋ファミリー ●中島高治 ●原田洋子 ●古城門清則 ●前田嘉弘 ●松本なお江 ●丸田衛 ●峯岸芳幸 ●宮崎興一 ●森田愛 ●修養団愛汗喜多方 ●修養団愛汗郡山 ●修養団山都愛汗の会 ●SYDボランティア友の会 ●修養団神奈川県連合会

【フィリピン子ども学資支援】

- 青木弘子 ●赤井ファミリー ●安倍昌代 ●有島剛 ●新井秀夫・幸子 ●江種宏泰 ●大嶋恵美子 ●小川昭廣 ●奥村利孝 ●河野美紀 ●河本智世江・花蓮 ●小林順子 ●柴枝泰子 ●志村ファミリー ●嶋津桂子 ●鈴木英二 ●高木ファミリー ●高野修滋 ●竹部ファミリー ●千木良佳亜 ●出口孝 ●直井晋一郎 ●中島郁雄 ●中島康孝 ●仲宗根ファミリー ●平松樹樹 ●山口博幸 ●渡邊直美 ●匿名
- 聖隷クリストファー中・高等学校るりだの会 ●高知県立宿毛高等学校生徒会 ●北海道八雲町「おやじの会」 ●NPO法人東京ベルズ ●修養団よぎっこ倶楽部有志 ●岡地宏(修養団日立システムズ五十鈴会茨城地区)

【フィリピン大学生学資支援】

- 伊藤綾香 ●藤本晴香・植田絵理 ●鈴木優子 ●高崎賢 ●高橋ファミリー ●中島康孝 ●中田由夏 ●古城門ファミリー ●With YK ●匿名 ●SYD役職員有志

【パンガラップ学校支援】

- 東江恵子 ●飯野ファミリー ●井手香代子 ●岩佐悠治・未帆子・みゆ・晴治・そら ●大塚慶子 ●掃部依代 ●粥川義二 ●川原雅代 ●小長谷貴子 ●柴橋裕子 ●島田ローズ ●寺尾敏幸 ●中島康孝 ●原田千代子 ●原田洋子 ●堀口光子 ●山口千恵子 ●吉岡恵美子 ●匿名
- 聖隷クリストファー中・高等学校るりだの会 ●修養団神奈川県連合会 ●第4回東京ベルズチャリティーコンサート出演者一同

フィリピン支援品の提供者(順不同、敬称略)

【「子ども支援バッグ」「手作りマスク」協力者】

- 大塚慶子 ●鈴木結紀 ●豊島永代 ●藤本ちあき ●古城門澄子 ●岡山県立津山高等学校 ●沖縄県立宮古実業高等学校ボランティア部 ●カリタス女子中学高等学校 ●高知県立宿毛高等学校 ●佐世保市立吉井中学校 ●浜松聖聖高等学校宗教委員・他生徒 ●北海道池田高等学校ボランティア部 ●宮古市立第二中学校生徒会 ●修養団嵐山町連合会